

G7 広島サミット粉碎！ 分断と対立を強める現代帝国主義のG7首脳会議 II サミットを断罪する

ウクライナ侵略戦争が長期化し泥沼化している。無残な戦争が眼前で進む世界状況の中、日帝・岸田政権は五月、G7広島サミットを主催しようとしている。岸田は、戦争状況を煽り立て、ウクライナ戦争支援で一致するG7戦争会議を主導することが「外交の成果」になると意い描いていた。統一教会問題、東京五輪大疑惑、セクシャルマイノリティ差別など自民党政権の実態が露呈し、批判が噴出、支持率が急落する中、この軍事外交の「成果」で、全てを払拭できると思い込んでいるのだ。

でつち上げた「台湾有事」で琉球弧の出撃拠点化を進め、米軍基地・自衛隊基地で沖縄・琉球弧を埋め尽くそうとしている。G7広島サミット粉碎の反戦闘争、反帝闘争に立ち上ろう。

本稿ではG7広島サミット粉碎闘争に向け、現代帝国主義の現状とG7サミットとは何かを明らかにしていく。

その後、四月から八月まで膠着状態が続いた。九月に部隊を集中した。

最初に、ウクライナ軍が東部ハルキウ州で反攻を開始し、ハルキウ州を奪回した。

さらに、ヘルソン州、ルガンスク州でも反撃が続いた。ロシア軍の退却が続く中で、プーチンは九月二日、年二月二一日、ドネツク人予備役の「部分動員令」を発令。九月二七日には、ロシア占領下の東部・南部四州で「住民投票」を実施。九月三〇日には、ルハンスク州、ドネツク州、ザボリージャ州、ヘルソン州をロシアに併合することを一方的に宣言した。

ウクライナ侵略戦争はロシアープーチン政権が始ま始めた戦争であり、最大の責任者はプーチンにある。

ウクライナ侵略戦争はロシア軍の保護を理由にしてウクライナに侵攻した。

ロシア軍は、ウクライナの北部・東部・南部の国境にまで侵攻するとともに、各地で占領地域を拡大した。

しかし、ウクライナ軍は退し、ウクライナ軍がヘルソンを奪還した。

プーチンは一年を超えてなお、停戦の道筋を示そうとしていない。ウクライナ戦争は泥沼化し拡大している。戦争の長期化のもう一方の理由は、帝国主義各國がその利害から、ゼレンスキー政権への軍事支援を強めていることだ。米帝・バイン政権は、自ら手を下すことなく、ロシアを敗北させることに執心している。

プーチンは二〇二一年一月、北大西洋条約機構(NATO)の拡大を非難し、ウ

クライナ侵略戦争はロシアの兵力をウクライナ共和国の独立を一方的に承認し、二四日にはロシア系住民の保護を理由にしてウクライナに侵攻した。

ロシア軍は、ウクライナの北部・東部・南部の国境にまで侵攻させた。

一五万の兵力を集結させた。

一〇月にウクライナ軍が反撃を強めた。一月にロシア軍がヘルソン市から撤退した。

しかし、ウクライナ軍は退し、ウクライナ軍がヘルソンを奪還した。

プーチンは二〇二一年二月、北大西洋条約機構(NATO)の拡大を非難し、ウクライナ侵略戦争を再編して東部・南部は、ロシアにとつて意義ある。

ウクライナ侵略戦争一年

戦争と現代帝国主義

ウクライナ侵略戦争の長期化

ウクライナ侵略戦争はロシアの兵力をウクライナ共和国の独立を一方的に承認し、二四日にはロシア系住民の保護を理由にしてウクライナに侵攻した。

ロシア軍は、ウクライナの北部・東部・南部の国境にまで侵攻させた。

一五万の兵力を集結させた。

一〇月にウクライナ軍が反撃を強めた。一月にロシア軍がヘルソン市から撤退した。

しかし、ウクライナ軍は退し、ウクライナ軍がヘルソンを奪還した。

プーチンは二〇二一年二月、北大西洋条約機構(NATO)の拡大を非難し、ウクライナ侵略戦争を再編して東部・南部は、ロシアにとつて意義ある。

ウクライナ侵略戦争一年

戦争と現代帝国主義

ウクライナ侵略戦争の长期化

ウクライナ侵略戦争はロシアの兵力をウクライナ共和国の独立を一方的に承認し、二四日にはロシア系住民の保護を理由にしてウクライナに侵攻した。

ロシア軍は、ウクライナの北部・東部・南部の国境にまで侵攻させた。

一五万の兵力を集結させた。

一〇月にウクライナ軍が反撃を強めた。一月にロシア軍がヘルソン市から撤退した。

しかし、ウクライナ軍は退し、ウクライナ軍がヘルソンを奪還した。

プーチンは二〇二一年二月、北大西洋条約機構(NATO)の拡大を非難し、ウクライナ侵略戦争を再編して東部・南部は、ロシアにとつて意義ある。

香川 空

香川 空

香川 空

香川 空

香川 空

